

JSNMT 投稿論文の書式

表題（日本語）

（筆頭執筆者は JSNMT 会員であること）

5

和文要旨（投稿区分が『原著』および日本語論文の全てで必要です。）

注意：冗長にならず 400 字程度に納めること。

10

15 **英文 Summary**（投稿区分が『原著』および英語論文の全てで必要です。）

注意：ネイティブチェックを受けること。

250 語以内で作成すること

20

25

1. 緒言（はじめに）

注意：略語については、最初の記載をスペルアウト（正式名称を略
5 さない）で記入すること。

2. 方法

10 2-1

2-2

注意：倫理規定に配慮している内容を記載すること。

検討項目が多い場合は、2-1, 2-2・・・のように項目ごとに分けて
15 詳細を記載すること。

3. 結果

3-1

20 3-2

注意：検討した順番に記載し、3-1, 3-2・・・と項目ごとに分けて
結果を明確に示すこと。図表に示されている重要な数値は、本文中
に記載する。

25

4. 考察

注意：検討した順番に結果に対するコメントを先行研究の報告結果
30 と比較しながら記載すること。

検討結果にない重要なコメントでは、参考文献を記載すること。

5. 結論

5 注意：検討結果から断定できることを記載すること。

引用文献 (references)

(例)

10 (1)引用文献の書き方は、バンクーバー方式(引用順方式)とし、本文の参照箇所に引用順に文献の連番(1)(2)(3)をつけ、本文の最後に連番順で文献を記述すること。

(2)引用文献の書き方は次の形式による。

[雑誌] 番号) 著者名. 表題. 誌名 西暦年次; 巻数(号数): 頁数

15 [著書] 番号) 著者名. 書名. 発行所名, 西暦年次; 版数: 頁数,

(3) 英語表記の著者名は、姓、名の順とし、姓は全て記述し、名は頭文字のみを記述する。例 Maeda Y (前田幸人)

(4)引用文献での著者名は、3名まで記載し、以下は和文雑誌にあっては“他”，欧文雑誌は“et al”とする。

20

(和文例)

1) 白川誠士, 藤田 透, 矢野慎輔, 他. 3検出器型 SPECT 装置による心筋 SPECT 収集法の検討. 核医学技術 1995; 15(1): 10-13

(英文例)

25 2) Yamamoto Y, Ono Y, Aga F, et al. Correlation of 18F-FLT uptake with tumor grade and Ki-immunohistochemistry in patients with newly diagnosed and recurrens gliomas. J Nucl Med 2012; 53(12): 1911-1915

図表の説明 (Legends)

図 1

5 Fig.1

表 1

Table.1

10

注意：図表・写真のタイトルとその説明文は，原著論文および英語論文は英文として、日本語論文は和文とする。

15

20